

# 動物の作り方

05/2/19



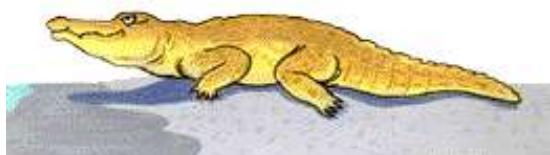
人形を見ると、私たちはどういう風に見ているのでしょうか。種類は、大人か子供か、何をしているのか、しぐさは、怖いかかわいいか、いろいろあります。人形を作ることは人にどう見せるかということで、私なりに作り方をまとめました。

## ○場面を考える

動物はただ居るのではなくて、何をしているかの理由があります。お腹がすいているのか、眠っているのか、いつもは何でいるのか。人形を作ることは、難しく言えばその動物の生きている時間の、ある場面を切り取った物です。物語を作り、その場面を人形に演じさせることです。私は作ろうとしている動物が、いつ、どこで、なにが、何をしているか、を考えます。たとえば上の写真では、昼間、ノラの子猫が、コップの中を覗いていて、見ている私と目があつたけど、幼いのでどうして好いかわからない場面です。

## ○動物の体と足の関係

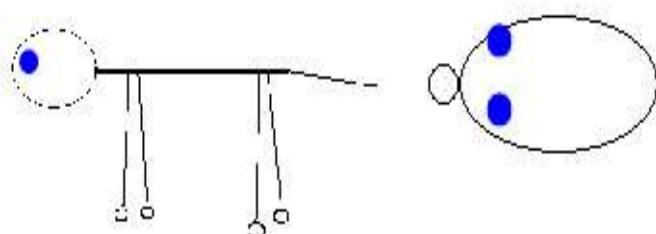
動物を作り分けるには、頭、目、口、背骨、尻尾、足をその動物の特徴通りにすることが基本です。



ワニの足は背骨から左右に付いている。目は動物を補食するため頭の前、水面から目だけ出すため上。

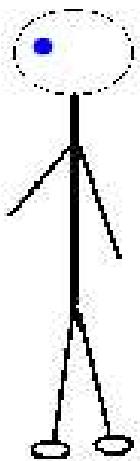


犬の足は背骨から下に向かつてついている。目は動物を補食するため頭の前。

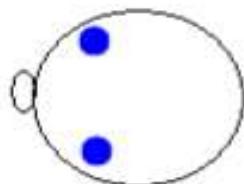




鳥の足は頭と尻尾でバランスを取るため体の重心に付いている。目は補食動物を見張り早く逃げるため360°見えるように、頭の両脇に付いている。



人間は頭と背骨をまつすぐ足で支えている。動物の中で人間だけ形が違う。目の位置は補食動物。



## ○しぐさ

尾は巻く



動物にはしぐさがあります。作り上げたら、まだ粘土が柔らかい内に全体をひねりましょう。固まった形から、動きが出てきます。

耳は柴犬なので立てる。

頭と胴体は軽くひねり、目線を決める。

足は前後に開いて動きを出す。

子犬なので頭を大きくする、少しあでこにする。

## ○簡単な水鳥の作り方



粘土の固まり



転がしてのばす



上に曲げる



先を前に曲げる



鉛筆で目と口を開ける



羽を描く



体をひねる



尾尻をあげて動きのある形



頭も曲げる